薬剤情報

2023-9月　No.5

１．採用薬品情報（2023/8/28　薬事審議会）

1）新規採用薬剤

① エクラ®プラスター 20μg/cm²
薬価：¥46.0/枚（7.5cmx10cm）

【薬効分類】外用副腎皮質ホルモン剤
【用法・用量】
患部を軽く洗浄し、よく乾燥させた後、本品を育体面．番ポリエステルフィルムに付着させたまま適当な大きさに切り取り、ポリエステルフィルムを取り除さ、患部に膏体面を当てて貼付する。本品は、貼付後 12 時間又は 24 時間毎に貼りかえる。必要な場合、夜間のみ貼付する方法もある。なお、貼りかえるときにも患部の洗浄及び乾燥を行う。

②クレメジン®速崩錠 500mg
薬価：¥29.5/錠

【薬効分類】慢性腎不全用剤
【用法・用量】
通常、成人にクレメジン原体として 1 日 6g を 3 回に分割し、経口投与する。

③ステルイズ®水性懸濁筋注　240 万単位シリンジ/60 万単位シリンジ
薬価：¥9,049（240 万単位）、¥3,024（60 万単位）

【薬効分類】持続性ペニシリン製剤
【用法・用量】
■成人及び 13 歳以上の小児
＜早期梅毒＞
通常、ベンジルペニシリンとして 240 万単位を単回、筋肉内に注射する。
＜後期梅毒＞
通常、ベンジルペニシリンとして 1 回 240 万単位を週に 1 回、計 3 回、筋肉内に注射する。
■2 歳以上 13 歳未満の小児
＜早期梅毒＞
通常、ベンジルペニシリンとして 240 万単位を単回、筋肉内に注射する。なお、年齢、体重により適宜減量することができる。
＜後期梅毒＞
通常、ベンジルペニシリンとして 1 回 240 万単位を週に 1 回、計 3 回、筋肉内に注射する。なお、年齢、体重により適宜減量することができる。
■2 歳未満の小児
＜早期先天梅毒、早期梅毒＞
通常、ベンジルペニシリンとして体重 1kg あたり 5 万単位を単回、筋肉内に注射する。

④ラステット®S カプセル 25mg
薬価：¥528.2/Cup

【薬効分類】抗悪性腫瘍剤
【用法・用量】
＜肺小細胞癌＞
エトポシドとして、通常成人 1 日 175～200mg を 5 日間連続経口投与し、3 週間休薬する。これを 1 クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は疾患、症状により適宜増減する。
＜悪性リンパ腫＞
患者の状態に応じ A 法又は B 法を選択する。
A 法：エトポンドとして、通常成人 1 日 175～200mg を 5 日間連続経口投与し、3 週間休薬する。これを 1 クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は疾患、症状により適宜増減する。
B 法：エトボシドとして、通常成人 1 日 50mg を 21 日間連続経口投与し、1～2 週間休薬する。これを 1 クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は疾患、症状により道目増減する。
＜子宮頸癌＞
エトポンドとして、通常成人 1 日 50mg を 21 日間連続経口投与し、1～2 週間休薬する。これを 1

クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は疾患、症状により適宜減量する。
＜がん化学療法後に増悪した卵巣癌＞
　エトポシドとして、通常成人1日50mg/m²を21日間連続経口投与し、1週間休薬する。これを1クールとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。

2）後発品・メーカー変更・規格追加薬剤

・インドメタシンクリーム1%「サワイ」	（先発品から変更）
・オロパタジン点眼液0.1%「サンド」	（先発品から変更）
・カペシタビン錠300mg「サワイ」	（先発品から変更）
・ゲフィチニブ錠250mg「NK」	（先発品から変更）
・ジクロフェナクNaゲル1%「ラクール」	（先発品から変更）
・タクロリムスカプセル0.5mg、1mg「ニプロ」	（先発品から変更）
・デュロキセチンOD錠20mg「ニプロ」	（先発品から変更）
・トラボプロスト点眼液0.004%「ニプロ」	（先発品から変更）
・トラマドール塩酸塩OD錠25mg「KO」	（先発品から変更）
・ドルモロール配合点眼液「ニットー」	（先発品から変更）
・ドンペリドン錠5mg「サワイ」	（先発品から変更）
・ブリンゾラミド懸濁性点眼液1%「サンド」	（先発品から変更）
・プロムフェナクNa点眼液0.1%	（先発品から変更）※採用メーカー未定
・モキシフロキサシン点眼液0.5%「日点」	（先発品から変更）
・ラタチモ配合点眼液「ニットー」	（先発品から変更）
・ラタノプロスト点眼液0.005%「ニットー」	（先発品から変更）
・レトロゾール錠2.5mg「サンド」	（先発品から変更）
・レパグリニド錠0.25mg、0.5mg「サワイ」	（先発品から変更）
・レボフロキサシン点眼液0.5%「わかもと」	（先発品から変更）
・ロペラミド塩酸塩カプセル1mg「サワイ」	（先発品から変更）
・ロラタジンOD錠10mg	（先発品から変更）※採用メーカー未定
・尿素クリーム20%「SUN」	（先発品から変更）

3）削除品目

・インテバン®クリーム1%	（インドメタシンクリーム1%「サワイ」を採用のため）
・パタノール®点眼液0.1%	（オロパタジン点眼液0.1%「サンド」を採用のため）
・ゼローダ®錠300mg	（カペシタビン錠300mg「サワイ」を採用のため）
・イレッサ®錠250mg	（ゲフィチニブ錠250mg「NK」を採用のため）
・ナボール®ゲル1%	（ジクロフェナクNaグル1%「ラクール」）
・プログラフ®カプセル0.5mg	（タクロリムスカプセル0.5mg、1mg「ニプロ」を採用のため）
・サインバルタ®カプセル20mg	（デュロキセチンOD錠20mg「ニプロ」を採用のため）
・トラバタンズ®点眼液0.004%	（トラボプロスト点眼液0.004%「ニプロ」を採用のため）
・トラマール®OD錠25mg	（トラマドール塩酸塩OD錠25mg「KO」を採用のため）
・コソプト®配合点眼液	（ドルモロール配合点眼液「ニットー」を採用のため）
・ナウゼリン®錠5mg	（ドンペリドン錠5mg「サワイ」を採用のため）
・エイソプト®懸濁性点眼液1%	（ブリンゾラミド懸濁性点眼液1%「サンド」を採用のため）
・ブロナック®点眼液0.1%	（ブロムフェナクNa点眼液0.1%を採用のため）
・ベガモックス®点眼液	（モキシフロキサシン点眼液0.5%「日点」を採用のため）
・ザラカム®配合点眼液	（ラタチモ配合点眼液「ニットー」を採用のため）
・キサラタン®点眼液0.005%	（ラタノプロスト点眼液0.005%「ニットー」を採用のため）
・フェマーラ®錠2.5mg	（レトロゾール錠2.5mg「サンド」を採用のため）
・シュアポスト®錠0.25mg、0.5mg	（レパグリニド錠0.25mg、0.5mg「サワイ」を採用のため）
・クラビット®点眼液0.5%	（レボフロキサシン点眼液0.5%「わかもと」を採用のため）
・ロペミン®カプセル1mg	（ロペラミド塩酸塩カプセル1mg「サワイ」を採用のため）
・クラリチン®錠10mg	（ロラタジンOD錠10mgを採用のため）
・ケラチナミンコーワ®クリーム20%	（尿素クリーム20%「SUN」を採用のため）
・球形吸着炭細粒分包「日医工」	（製造中止に伴い、クレメジン速崩錠500mgを採用のため）

2．新規 院外処方薬（院外処方箋でのみ処方可）

- アズノール錠２ｍｇ
- ジュンコウ加味逍遙散エキス錠
- ビルトリシド錠６００ｍｇ
- ゼビアックス油性クリーム２%

3．添付文書改訂情報

・アトルバスタチン錠・OD 錠「トーワ」

副作用として重症筋無力症が発症又は悪化することがある旨と、重症筋無力症やその既往歴のある患者への注意喚起が追記されました。

・アトルバスタチン錠・OD 錠「トーワ」　（＿＿＿＿：追記）

改　訂　後（新記載要領）	改　訂　前（旧記載要領）
9．特定の背景を有する患者に関する注意 9.1 合併症・既往歴等のある患者 9.1.3 重症筋無力症又はその既往歴のある患者 重症筋無力症（眼筋型、全身型）が悪化又は再発することがある。［11.1.9参照］	1．慎重投与（次の患者には慎重に投与すること） （該当する記載なし）
11．副作用 11.1 重大な副作用 11.1.9 重症筋無力症（頻度不明） 重症筋無力症（眼筋型、全身型）が発症又は悪化することがある。［9.1.3参照］	4．副作用 1）重大な副作用（頻度不明） （該当する記載なし）

引用元：電子添文改訂（towayakuhin.co.jp）